

福井県民の気質

※ 「ふくい2030年の姿」(2005年3月)24~25ページより抜粋
 ※ なお、社長輩出率および共働き世帯の割合は最新のデータに時点修正

- ・ 一般に、「堅実で勤勉」と言われる県民性は、人口当たりの社長の輩出率や共働き率が全国1位であるというところに表れています。しかし、福井県人は「でしゃばることを潔しとしない」、「目立つことをしたがるらない」、「積極的に人より前に出たがるらない」とも言われています。〔表1、表2、表3〕

〔表1〕 福井県の県民気質

○ねばり強く、勤勉でまじめ、郷土愛が強い。しかし、消極・排他的、視野が狭く「けちんぼ」であるとも言われる。
 ○文化的には関西圏にあり「こすっからい」と言われることもあるが、言い換えれば、才覚良く働くという大阪商人的な良さを持つ。
 ○仏教が郷土性に与えた影響も少なくなく、浄土真宗の「他力本願」的な消極性を持つ反面、温順で親切な人間性を持つ。

出典：山川出版社「福井県の歴史（1973年）」

〔表2〕 人口当たり社長輩出率
 (2009年：28年連続で福井県がトップ)

順位	都道府県名	人口10万人当たり人数
1	福井県	1,681人
2	山梨県	1,489人
3	富山県	1,331人
45	神奈川県	452人
46	千葉県	444人
47	埼玉県	428人

出典：帝国データバンク「全国社長分析」

〔表3〕 共働き世帯数の割合
 (2005年)

順位	都道府県名	共働き世帯数／夫婦のいる一般世帯数
1	福井県	58.2%
2	山形県	57.8%
3	富山県	56.6%
45	兵庫県	39.0%
46	大阪府	36.5%
47	奈良県	36.3%

出典：総務省「国勢調査報告」

- ・ NHKの県民意識調査では、「地方なまりがでることを恥じる」と答えた人の割合は本県が全国で最も高く、「昔からあるしきたりは尊重すべき」とする人の割合は全国平均を下回っています。また、「仕事や生活で新しいことを積極的に取り入れたい」と答えた人の割合が全国平均を上回っているなど、古いものにこだわらず新しいものを取り入れる「進取の気性」を持つ傾向がうかがえます。〔表4〕

〔表4〕 現代の県民気質—全国県民意識調査— 出典：NHK放送文化研究所「現代の県民気質（1997年）」

設問	回答	1996年		1978年	
		福井県	全国	福井県	全国
自分の県が好きか	好き	76.6	81.4	75.6	81.3
		42位		42位	
流行遅れのものを着たとしても気にならない	気にならないほうだ	59.7	64.2	63.3	65.9
		45位		37位	
昔からあるしきたりは尊重すべき	はい	52.5	57.2	58.4	62.4
		40位		37位	
本来自分が主張すべきことがあっても、自分の立場が不利になるときは黙っていることが多い	はい	48.3	44.5	47.9	41.6
		14位		5位	
仕事や生活の上で新しいことを積極的に取り入れたい方か	はい	67.2	64.7	67.2	68.2
		7位		30位	
地方なまりがでるのは恥ずかしいと思うか	はい	26.9	13.0		
		1位			
今の生活に満足しているか	満足(非常に+やや)	86.1	82.2		
		1位			

【参考】 日照時間(年間) 平成19年 1,682時間(全国第42位)
 降水量(年間) 平成19年 2,000ミリ(全国第5位)